

ヨリ大正二年ニ至ル九ヶ年間ハ二百五十一件(平均  
ニ千八件)ニ過ギサリシヲ歐州大戦激發シタル大正三年  
ヨリ同十年ニ至ル八ヶ年間ハ一躍二千六十餘件(一  
年平均五百五十八件)ノ多キヲ算シ就中大正六年ヨリ同八年  
ニ至ル三ヶ年間ハ実ニ一年平均四百三十餘件ノ多  
キヲ數ハ殊ニ大正八年ニ於テハ其ノ最高記録ヲ示  
シテ件數ニ於テ四百九十七件、参加人員六万三千  
餘人ニ及ベリ

カノラ大正十一年ニ入ルヤ前年末ノ不景氣が社會  
ノ各方面ニ浸潤スルニ至リ朝野齊シク財政緊縮ノ  
聲ニ滿サル、折柄官私營業ノ縮小休廢相踵イテ  
行ハレ勞働者ノ需要ハ著シク減小シテ茲ニ勞働運  
動モ亦次第ニ緊張シ来リ失業不安ニ基ク解雇争ひ  
ノ確立増額若クハ生産費節減ニ依ル賃銀減額ニ反  
對スル運動等大正七八年好況時代ノ争議ト頗ル趣  
ヲ異ニスルモノアルニ至レリ然リ而シテ争議ノ